

第 183 回 物質構造科学研究所運営会議議事要旨

日 時 令和 7 年 7 月 31 日 (木) 15 : 15 ~ 16 : 40

場 所 高エネルギー加速器研究機構 管理棟大会議室 + ウェブ (Zoom) 併用

出席者 雨宮議長、大竹副議長、池田、大山、栗栖、解良、駒場、近藤、菅原、高橋、永井、矢橋、山室、大友、千田、伊藤、幸田、五十嵐、木村、中尾、三部、帯名、佐波の各委員、熊井専門委員、船守所長
(欠席：原田、横尾の各委員)
(機構側陪席者)
長野理事、花垣理事、道園理事、柴原総務部長、櫻井参事役、岩見人事担当課長、宮居共同利用支援課専門員

議 事

【 1 】 所長報告

船守所長から、物質構造科学研究所の運営に関する報告があった。

【 2 】 第 181 回、182 回議事要録の確認について

雨宮議長から、資料 1 の議事要録については事前に確認を終了しており、確定版を配付している旨の説明があった。

【 3 】 審議

(1) 教員公募 (教授 1 名・放射光二系)

千田委員から、資料 2 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。併せて、人事委員会委員についても提案のとおり了承された。

(2) 教員公募 (准教授 1 名・ミュオン)

幸田委員から、資料 3 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。併せて、人事委員会委員についても提案のとおり了承された。

(3) 特定有期雇用職員の雇用計画・公募について (特別助教 1 名・中性子)

伊藤委員から、資料 4 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。併せて、人事委員会委員についても提案のとおり了承された。

(4) 学術研究フェローの公募について (特任助教 1 名・放射光二系)

千田委員から、資料 5 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。併せて、人事委員会委員についても提案のとおり了承された。

(5) 2025 年度後期放射光共同利用実験課題審査結果について

五十嵐委員から、資料 6 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

< 主な意見・質疑応答等 >

・不採択となった課題に対する実験審査委員会のコメントについて、結果通知のみのものと、改めての申請を促す記載のあるものとはどのような違いがあるか。

→申請内容に不足等はあるものの、改善の上、再度申請いただきたいという委員会の意向があった際に、メッセージとして再申請を促す記載を付すことがある。

(6) 次期研究主幹の選考について【クローズド審議】

雨宮議長から、別途配信資料に基づき選考方法について説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(7) 次期技術調整役の選考について【クローズド審議】

雨宮議長から、別途配信資料に基づき選考方法について説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(8) 教員人事（特定人事・特別教授 1 名・ミュオン）【クローズド審議】

千田委員から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、特別教授 1 名が選考された。

【4】 協議

(1) 素粒子原子核分野との連携協働について

三部委員による、主にミュオンにおける素粒子原子核分野と物質生命分野の連携の紹介に引き続き、意見交換を行った。国際共同研究の規模やミュオン利用研究の特徴、他の量子ビームにおける連携に関する質疑応答などがあり、両分野の連携の重要性を確認した。

【5】 報告

(1) 人事異動

船守所長から、資料 7 に基づき報告があった。

(2) 研究員の選考結果について

船守所長から、資料 8 に基づき報告があった。

(3) 2025 年度通期放射光共同利用実験課題審査結果について

五十嵐委員から、資料 9 に基づき報告があった。

(4) 2025 年度後期マルチプローブ共同利用実験課題審査結果について

雨宮議長から、資料 10 に基づき報告があった。

【6】 研究活動報告（資料配付のみ）

1. 物質構造科学研究所
2. 素粒子原子核研究所
3. 加速器研究施設
4. 共通基盤研究施設

＜主な意見・質疑応答等＞

・船守所長から研究活動報告配付の必要性について意見が求められ、下記のような意見が寄せられた。

→是非、配付を継続していただきたいが、資料の作成に係る事務負担を考慮することも重要であるため、バランスを見て今後の対応をご検討いただきたい。

→ホームページに掲載されている記事へのリンク先等を纏めたものでも良いので、作成の負担が少ない形での継続を検討いただきたい。

次回の運営会議は令和 7 年 10 月 1 日 15 時 15 分から開催するとの案内があり、閉会した。

以 上